

平成29年度 コンテンツ活用促進事業費補助金

1 目的

北海道内の中小企業が、自社の経営課題の解決に向けた取り組みにおいて、札幌市内のクリエイターと連携しながらコンテンツ(デザイン、映像、音楽、キャラクターなど)活用を行うために発生する費用の一部を補助することにより、市内中小企業の競争力及び成長性を高め、札幌市経済の活性化に寄与することを目的としています。

2 補助対象者

北海道内に本社を有する中小企業及び企業グループ等。ただし、コンテンツ等の事業を主に営む中小企業者等を除く。

3 補助対象事業

自社の経営課題(自社の商品やサービスの高付加価値化を図る、更なる販路を拡大する、あるいは、業務効率化を図るために自社業務を改善する等)を解決するために、コンテンツの利活用を行う取り組み。

4 補助金額

補助対象経費の1/2以内、上限額200万円

5 補助件数

3件程度(予算600万円の範囲内で実施)

(平成29年度採択案件)

- ・音楽コンテンツを活用した「スーパー極上キムチ」ブランディングPR事業(北日本フード株式会社)
- ・北海道を代表とする作物(ハスカップ、小豆)に付加価値をつけるコンテンツ制作とデザインの活用(株もりもと)
- ・らんこし米とグルテンフリー商品の売れる通販サイト制作およびブランディング事業(株米夢館)
- ・道産子ヒーロー「舞神ソーランドラゴン」のTV番組化とレトルトカレー開発プロジェクト(合同会社 道産子英雄企画)
- ・地域の店舗間連携による『まちづくり』活動を目指した紙媒体とWEBの相互連携による集客システムの開発(株Savon de Siesta)

6 補助対象経費

補助対象者が本事業実施にあたり、札幌市内でコンテンツ等の事業を営む中小企業者との間で発生する経費等。ただし、補助対象経費の50%以上がクリエイターに支払われる直接人件費であること。

7 募集期間

平成29年5月30日～8月4日

8 申請の受付・問い合わせ

一般財団法人さっぽろ産業振興財団 インタークロス・クリエイティブ・センター
〒003-0005 札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1
TEL:011-817-8911 URL:https://www.icc-jp.com

※平成30年度事業詳細は、市ホームページなどで公開する公募要領等をご確認ください。

株式会社ネクステック (平成28年度採択企業)

「ポジモ」のブランド化と広域啓蒙活動促進事業

- 所在地/札幌市北区北7条西5丁目8-1
北7条ヨシヤビル8F
- TEL/011-729-3711 ●FAX/011-729-3712
- 代表者/代表取締役社長 大石 憲且
- 設立/1997(平成9)年11月 ●従業員数/15名
- URL/http://www.nextech.co.jp/index.php

「ネットワークをお客さまの思い通りに!」を企業理念に持つ株式会社ネクステックは、ネットワークに特化したソフトウェアやシステムの開発を受託してきたIT企業。サイト運用管理サービスではコンサルティングサポートや特殊サーバ型サイトのサポートも行う。システム開発サービスでは顧客ニーズに最適なサービスを提供する。その一方で、技術力を具現化した自社製品を製造しブランド化を目指す。

自社製品「ポジモ」のブランディングを目的に、販売促進ツールを整備し拡販を目指す

画期的な製品を製造するも知名度が不足

これまで蓄積してきた高い技術力を活かして新規事業として自社製品やサービスの開発・販売に取り組んできた株式会社ネクステック。中でも2013年春に発売した新規自社製品「ポジモ」は屋外に設置する無線LANアクセスポイントを持つ中継機。太陽光パネルとバッテリーを取り付けているため、電源を自給して稼働することができる。重さは約15kg。持ち運びもできるこれまでになかった製品だ。市街地から離れた景勝地や農業・土木現場、被災地や野外イベント会場などで使われている。利用者からは高い評価をもらっているものの、圧倒的に知名度が不足しているためか、効果的なマーケティング活動ができていないといった課題があった。そこで補助金を活用し、ブランディングの一環としてポジモの新しいロゴタイプを制作。製品紹介の動画も制作。ユーザーインタビューを主体にした導入事例集を整備することにした。

製品理解に一定の効果

ロゴタイプに関しては、製品の信頼感を表現することを目的に、製品形態にあわせた四角い図案をベースに制作をすすめた。製品紹介の動画は約5分。カタログや資料といった紙ではなかなか伝えづかった部分を映像とイラスト、ナレーションで効果的に伝えるよう配慮した。この動画は展示会場で上映したほか、YouTubeにもアップし、いつでもどこ

からでも視聴できるようにしてある。これまでの視聴回数は700回を越え、製品理解に役立ち見込みも依頼につながっているという。事例集は、イベント・観光地・建設現場・農業・災害対策の5事例をメールなどで顧客にヒアリングを行って仕上げた。

特に動画に関しては、海外での展示会「ITU Telecom World 2016」のブースでも放映し、「Recognition of Excellence」の受賞にも貢献した。世界中にポジモをアピールすることができるのも、動画の効果だと実感した。制作においては最適なものをと、慎重に進めたが、完成したものを改めて見てみるといろいろな意見があったり反省もあったという。しかし、今回のマーケティングツールの整備を通して、販売増につなげていきたいと考えた。

未踏領域製品を世界の販路へ

「ポジモ」は電力の無い場所に必要に応じて無線通信を構築する製品です。世界的にみると、電力整備の遅れに伴い通信網が行き渡っていない地域があり、産業や教育の発展を妨げることになっています。こういった世界的な通信事情も勘案し、ビジュアルによるブランディングを通して「ポジモ」の需要を喚起していきます。



製品事業部長
大石 憲且

冬季間でも稼働する「ポジモ」



室蘭市の地球岬で設置されている例



屋外の移動Wi-Fiスポットとして活躍する



イベント時や災害時でも外国人対応にも

